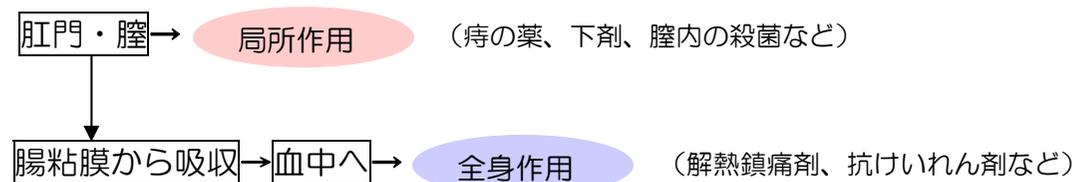


平成 21 年 6 月 1 日

坐薬を使用したことはありますか？坐薬は、お薬の中でもあまり親しみがなく、使いにくいイメージを持たれている方が多いと思います。今回は、「坐薬の使い方」についてお話ししたいと思います。

● 坐薬とは??

坐薬は肛門又は腔に使用する固形の外用剤で、直腸、肛門、腔などの局所に作用することを期待するものと、使用部位の粘膜から吸収されて血流に入ることにより、全身に作用することを期待するものがあります。



● 肛門への挿入方法

【基本事項】

- ☆使用する前後は必ず手を洗いましょう。
- ☆できるだけ排便を済ませた後に挿入しましょう。
(挿入時の刺激で便意を催し、坐薬が排出されてしまうのを防ぐためです。)
- ☆坐薬のすべりが悪い時は、水などで濡らすか、手の上で転がして温めれば入れやすくなります。
- ☆先端部のとがった方(太い方)から入れます。

【挿入方法】

《自分で挿入するとき》

- (1) 坐薬を包装から取り出し、ティッシュペーパーなどで坐薬の後部をつまみ、先のとがった太い方から肛門の奥まで入れます(指の第一関節が入るくらい)。
- (2) 中腰になって坐薬を差し込んだ後、しばらく動かず、ゆっくり立ち上がれば自然に肛門内に収まります。

《介助者が挿入する場合(中腰が無理な場合)》

- (1) 横向きで寝て、両足を曲げてもらいます。
- (2) 坐薬を包装から取り出し、ティッシュペーパーなどで坐薬の後部をつまみ、先のとがった太い方から肛門の奥まで入れます(指の第一関節が入るくらい)。



- (3) しばらく(2~3分)じっとしてから足をゆっくりと伸ばせば、肛門内にうまく収まります。

《子供に挿入する場合》

- (1) おむつを替える要領で両足を持ち上げ、肛門内に挿入した後、4~5秒間挿入部を押さえます。
- (2) しばらく(2~3分)じっとしてから足をゆっくりと伸ばせば、肛門内にうまく収まります。

③小児へ使用するとき

両足を持ち上げ、挿入後4~5秒間押さえる



＜参考＞ ～坐薬の切り方～

お医者さんの指示により、1回に1/2個使用する場合は、清潔なはさみやカッターを用いて図のように切断し、先端を使用します。残りの部分は捨てましょう。



【挿入後の注意】

挿入後、異物感や便意を感じても、しばらくすれば治まります。また、坐薬が外に出ないようにするため、挿入後20~30分は運動など激しい動きは避けましょう。使用後、油状の排泄物が出ることがありますが、薬に含まれる油分ですから心配いりません。

● 坐薬が便の中でてしまった・・・

坐薬が出たときの状況	対応
入れた直後に出た	すぐに入れ直す
入れて5分くらいで出た	＜溶けかけていて形が崩れていない場合＞ →入れ直す ＜溶けかけていて形が崩れている場合＞ →薬がどれくらい吸収されているかわからないため、しばらく様子を見て、必要であれば入れる。
ほとんど溶けていた	次回の使用できる時間まで様子を見る。

薬によって、効き目が早く(使用後10分くらいから)出てくるものや、ゆっくり効いてくるものがあります。判断できないときは、主治医や薬剤師にご相談下さい。

＜参考＞ 調剤と情報 2009 vol.15 No.4 (特集：外用薬のなぜ)
リッチェター薬剤師の現場を支援する情報誌— 2009 vol.13 No.1